TERAL

家庭ポンプ

深井戸専用部品

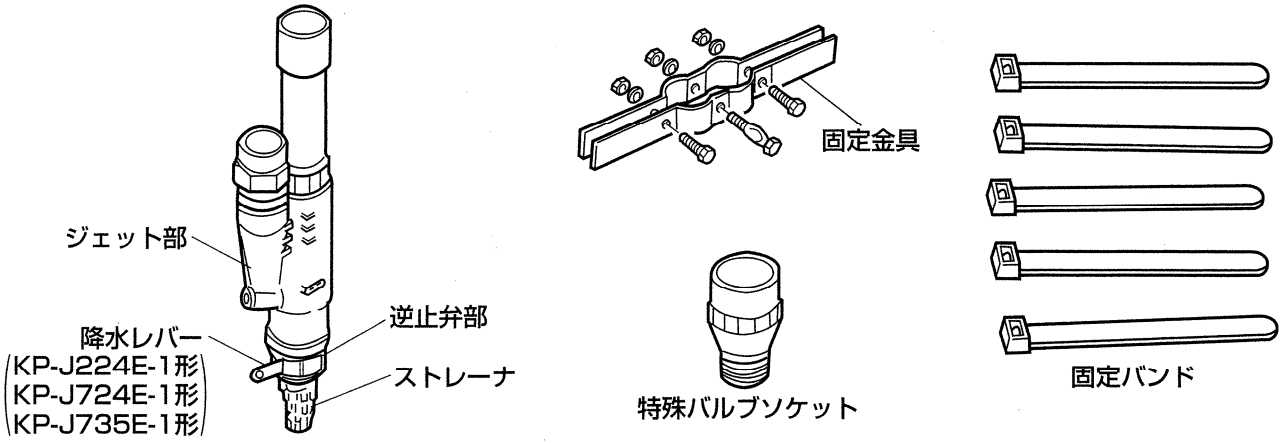
KP-J224D-1形　KP-J224E-1形
KP-J724D-1形　KP-J724E-1形
KP-J735D-1形　KP-J735E-1形

取　扱　説　明　書

浅深ポンプをお買い上げいただきまして　ありがとうございました。
お買い上げいただきました　本製品はKP形浅深ポンプと組合せ、吸上高さ12m以上の深井戸用として　お使いいただくための部品です。
ご使用の前に　この取扱説明書と　ポンプ本体に付属しています取扱説明書をよくお読みいただきまして　正しくお使いください。

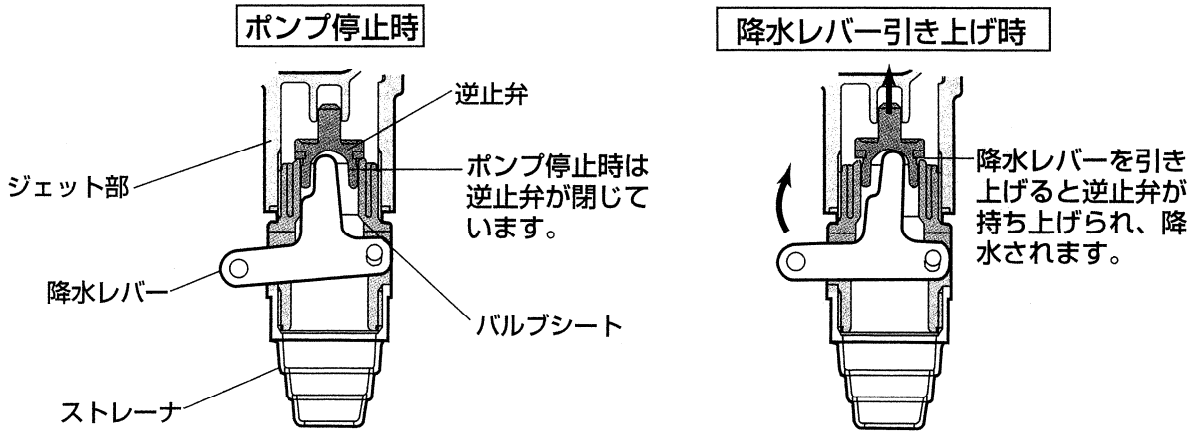
部　品　の　名　称

この深井戸専用部品は　次のような構成となっています。
万一輸送中の破損　または部品の紛失などがありましたら　なるべく早く　お求めの販売店に　ご連絡されるよう　お願いします。



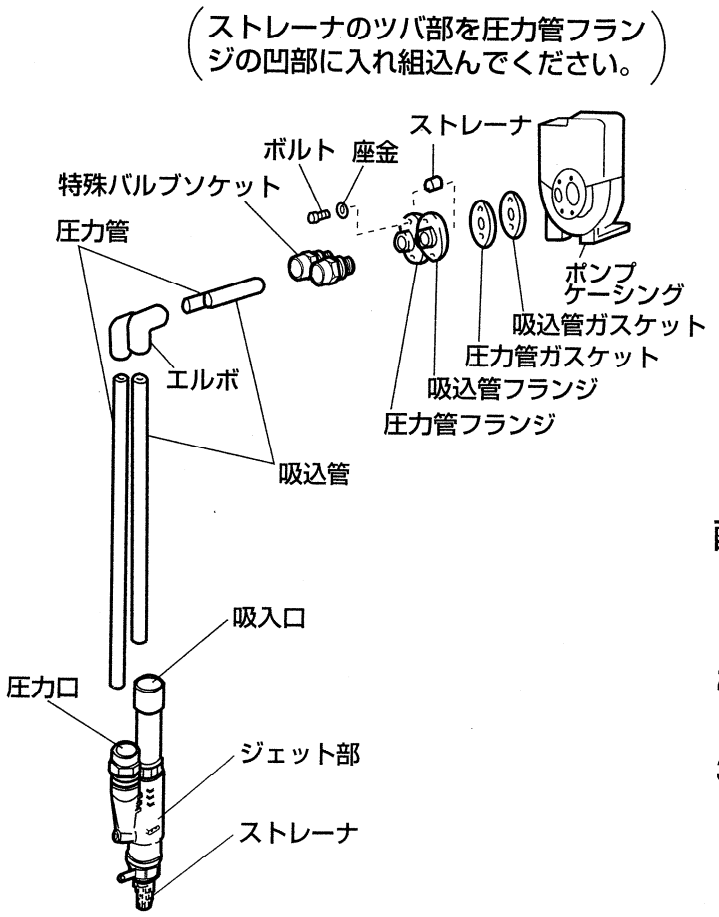
降水機能について (KP-J224E-1形、KP-J724E-1形、KP-J735E-1形のみ)

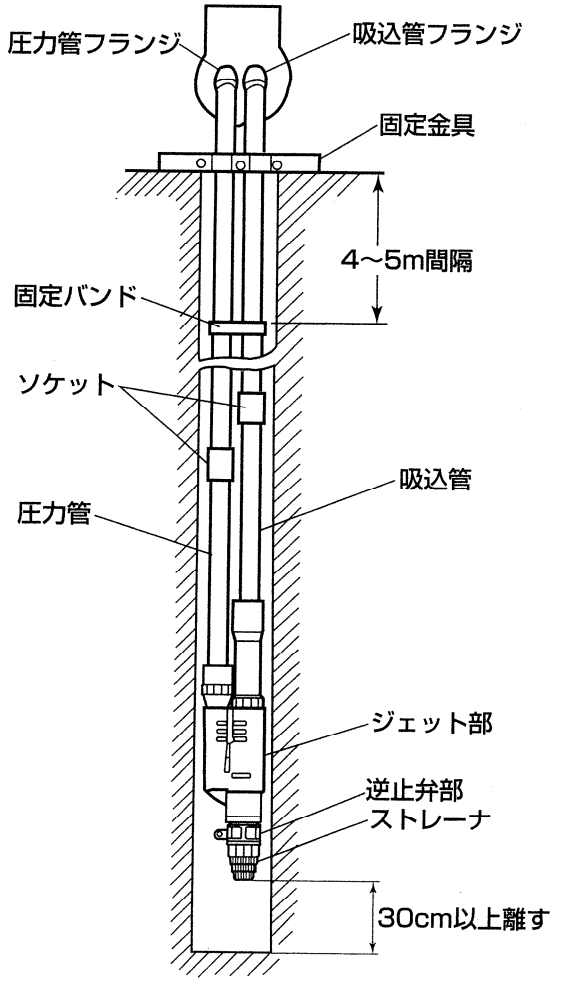
降水機能とは　配管内の水を井戸内に降水し　ジェット引き上げ作業を軽減するための機能です。
降水機能付逆止弁部について説明します。



テラル多久株式会社

配　管　要　領





ポンプ本体の付属品を使用します。

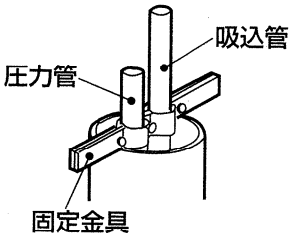
1) ジェット部の吸入口に吸込管、圧力口に圧力管を接続します。
2) 圧力管に特殊バルブソケットを接続し　圧力管フランジ、ストレーナ及び圧力管ガスケットをポンプケーシングに取り付けます。
3) 吸込管に吸込管フランジ、吸込管ガスケットをポンプケーシングに取り付けます。
4) ストレーナをジェット部に接続するときは、シールテープを巻かないでください。

配管時のご注意

1) ジェット部分が井戸に入りますので　井戸内径が10cm(4B管)以上必要です。
2) 配管は　水道用硬質塩化ビニル管呼び30mm($1\frac{1}{4}$B)をご使用ください。
3) 吸込管及び圧力管と　ジェット部との接続をまちがわれますと　揚水しませんので配管時注意してください。

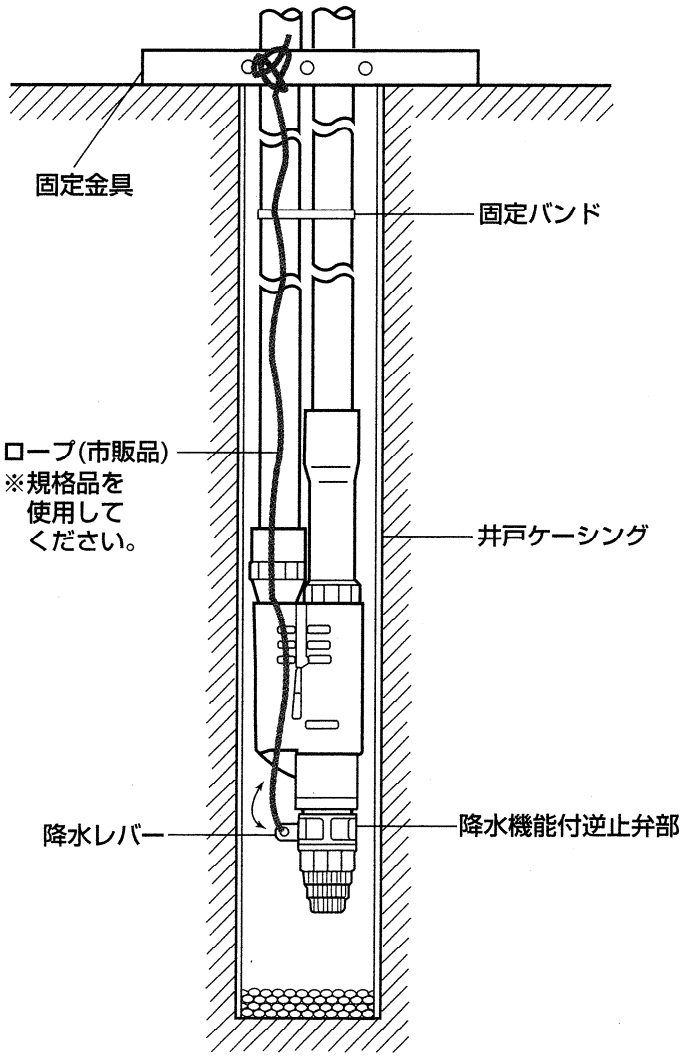
吸込管と圧力管の見分け

○配管に4mの定尺管を用いますと吸込側は圧力側より高くなります。
これにより、吸込側と圧力側を判断しポンプと接続します。
(逆になりますと、揚水しません)



4) 吸込管、圧力管の横引きは必ず井戸側が低くなるように　配管してください。傾斜が逆になりますと　配管内に空気が残り揚水不能になることがあります。

降水機能を使用される場合(KP-J224E-1形、KP-J724E-1形、KP-J735E-1形のみ)



1) 市販品のロープを購入してください。
ロープ仕様

規格名称	ポリプロピレンロープ
規格番号	JIS L 2706
呼称太さ	5mm
引張強さ	2kN 以上

2) ジェット部を井戸内に挿入する前に降水レバーがスムーズに動作することを確認してください。
3) 降水レバーの穴にロープを通し 確実に結び付けます。
4) ジェット部を井戸内に挿入し ロープを固定金具に結び付けます。

配管時のご注意

1) ロープは配管やジェット部および固定バンドにからまないように据え付けてください。
2) ロープは水にぬれると収縮しますので井戸内で張らないように余裕を持たせておいてください。ロープを張りすぎますとジェット部内の逆止弁より水が落ちてしまいます。
3) ロープに直射日光を当てますと強度が低下しますので、直射日光が当たらないよう据え付けてください。

仕 様

ポンプ出力		250W		400W			750W			
適用ポンプ形名		KP-255S -256S -255T -256T		KP-405LS/406LS -3405LS/3406LS -405LT/406LT -3405LT/3406LT			KP-3755LS/3756LS -3755LS-1/3756LS-1 -3755LT/3756LT			
吸上高さ (m)		18	24	18	24	30	18	24	30	35
押上高さ (m)		10		11			16			
ジェット形名		KP-J224D-1 KP-J224E-1		KP-J724D-1 KP-J724E-1	KP-J735D-1 KP-J735E-1		KP-J724D-1 KP-J724E-1		KP-J735D-1 KP-J735E-1	
揚水量 (L/min)	吸込管、圧力管 30mm(1 1/4B)	14	9	25	15	9	37	25	17	12

運　　転

1) 呼水栓を取り外し　吸込管、圧力管、ポンプケーシング内を呼び水で満水にします。
2) 蛇口をすべて開いて、呼水口に圧力計（連成計でも良い）を取り付けます。
3) 調圧弁の調整ねじを右（時計回り）へいっぱいにねじ込みます。
4) 電源を差し込み　ポンプが異常なく運転するかどうか確認してください。
5) 調整ねじを徐々にゆるめ圧力計の指示が次表の値になるように調整してください。この場合調整が不適当であるとポンプより「ガー」という異常音が発生しますので異常音が発生した場合　調整ねじを締め込み異常音が出ないよう　調整してください。
6) 計器がない場合は調整ねじをいっぱいに締め込み　ポンプの安全運転を確認後徐々に調整ねじをゆるめ　ポンプより「ガー」という異常音が発生したら　徐々に締め込み異常音がなくなった点から約$^{1}/_{2}$回転締め込んでください。
7) この状態で　数分間運転し異常ないことを確認してください。
8) 電源を切り　蛇口を閉じ　計器を取り外し　もう一度呼び水後電源を入れ蛇口を開閉して自動的に　運転停止を繰り返すかどうか確認してください。

調圧弁調整圧力

ポンプ出力	250W		400W			750W			
適用ポンプ形名	KP-255S -256S -255T -256T		KP-405LS/406LS -3405LS/3406LS -405LT/406LT -3405LT/3406LT			KP-3755LS/3756LS -3755LS-1/3756LS-1 -3755LT/3756LT			
吸上高さ (m)	18	24	18	24	30	18	24	30	35
調整圧力	100kPa{1.0kgf/cm^2}		130kPa{1.3kgf/cm^2}	160kPa{1.6kgf/cm^2}		240kPa{2.4kgf/cm^2}	260kPa{2.6kgf/cm^2}		
ジェット形名	KP-J224D-1 KP-J224E-1		KP-J724D-1 KP-J724E-1	KP-J735D-1 KP-J735E-1		KP-J724D-1 KP-J724E-1	KP-J735D-1 KP-J735E-1		

家庭ポンプアフターサービス網

〈テラル株式会社〉

札幌支店 (011)644-2501
仙台支店 (022)232-0115
郡山営業所 (024)922-5122
北関東支店 (048)665-4018
大宮営業所 (048)665-4018
新潟営業所 (025)287-5032
長岡営業所 (0258)29-1725
前橋営業所 (027)253-0262
水戸営業所 (029)224-8904
宇都宮営業所 (028)621-2422
千葉営業所 (043)264-5252
東京支店 (03)3818-6751
立川営業所 (042)536-2714
横浜営業所 (045)450-5351
金沢支店 (076)240-0350
富山営業所 (076)433-2151
名古屋支店 (052)937-9521
静岡営業所 (054)285-3201
沼津営業所 (055)923-1377
浜松営業所 (053)463-1701
岐阜営業所 (058)271-6651
大阪支店 (06)6227-0491
南大阪営業所 (072)253-4391
滋賀営業所 (077)583-3666
京都営業所 (075)647-1550
神戸営業所 (078)382-1991
姫路営業所 (0792)81-5511
広島支店 (082)297-8853
福山営業所 (084)961-0222
米子営業所 (0859)32-2970
岡山営業所 (086)241-4221
高松支店 (087)867-4040
松山営業所 (089)935-4335
福岡支店 (092)651-6151
北九州営業所 (093)571-5731
大分営業所 (097)551-1857
熊本営業所 (096)380-8388
長崎営業所 (095)848-2221
宮崎営業所 (0985)39-1577
鹿児島営業所 (099)253-4321

2007年5月現在

夜間・休日の修理受付
監視センター　TEL (03)3818-6904
　　FAX (03)3818-6854

〈テラル多久株式会社〉
修理センター(窓口) ―― (0952)75-4123
部品センター ― 0120-24-3635
　　└ (0952)75-4129

テラル多久株式会社
〒846-0023　佐賀県多久市南多久町長尾3898
TEL(0952)75-4123　FAX(0952)74-2773

お客さまへ　おぼえのために、お買上げ年月日、お買上げ店名などを記入してください。

お買上げ年月日	年　月　日
お買上げ店名 (住　所) (電話番号)	

逆止弁を点検する時のご注意

1. 逆止弁の動作を確認する場合は、分解せず次の手順で行ってください。

(1)降水レバーを押さえながらジェット部を縦に振り、逆止弁が上下に動く音を確認してください。
(2)ジェット部に水を注ぎ、水が落ちないことを確認してください。
(3)降水レバーを引き上げ、ジェット内の水が落ちることを確認してください。

2. 上記確認で異常がない場合は、逆止弁の動作は正常です。異常があり、分解した場合は、次の手順で再組み立てしてください。

手順 【図1】を参照

(1)バルブシートから古いシールテープを取り除き、新たにシールテープを巻く。(約10巻)

(2)バルブシートに脚3本が収まるように逆止弁をのせる。

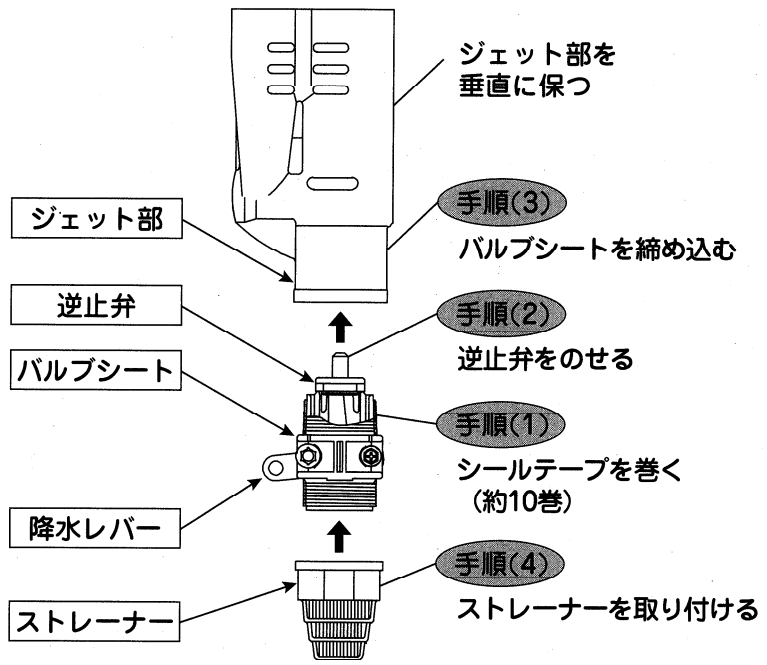
(3)ジェット部をなるべく垂直に保ったまま、バルブシートを締め込む。

締め込みは、降水レバーを【図2】の位置、および【図3】の締め込み量(ねじ1～2山の隙間)になるよう調整してください。

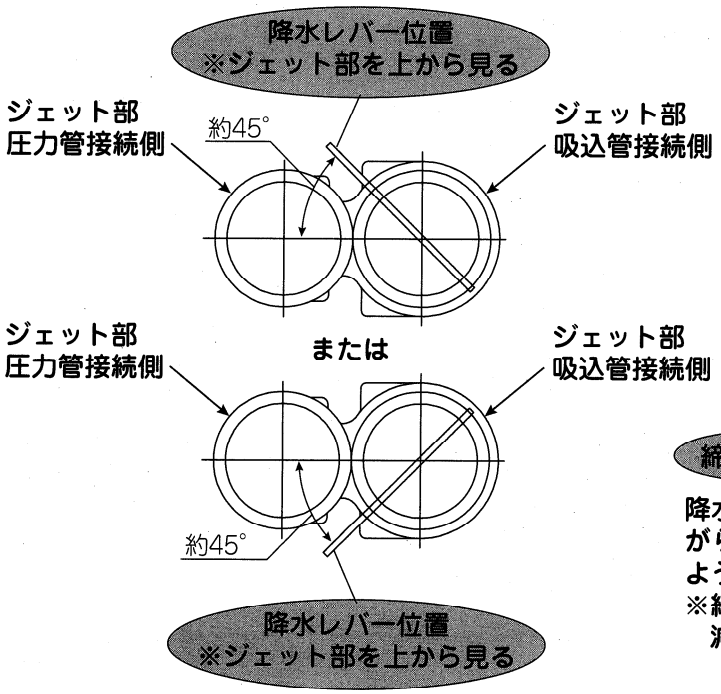
(4)ストレーナーはシールテープを巻かずに取り付ける。

(5)再組み立て後、再度1項の確認をする。

【図1】



【図2】



【図3】